

廃校を拠点に地域を元気に、小さな町の「無価値を価値化」で関係人口も増加、千葉県東庄町「オンラア未来会議」の取組みを聞いた

利根川を挟んで茨城県と向き合い、東には銚子市が広がり、九十九里にも鹿島灘にも近い千葉県香取郡東庄町。東京から約2時間、成田空港からは約1時間と首都圏内ながら、少子高齢化・人口減少など全国共通の課題を抱えている。そのなかで、地元の豊かな資産に目を向け、さまざまな地域課題に取り組んでいるのが一般社団法人「オンラア未来会議」だ。「未来のために、『本気の片手間』で活動して

います」と話す代表理事の柳堀裕太さんに人口1万3000人余りの小さな町の地域創生について聞いてみた。
廃校になった小学校を拠点に「オンラア」とは千葉県東部地域の方言で「私たち」という意味だ。柳堀さん自身も東庄町出身。TVCMプロデューサーの仕事を持ちながら「本気の片手間」で地域創生に取り組んでいる。主要メンバーは10人ほど。それぞれ本業を持ち、二足の草鞋で

活動を支えている。このほかに、補助的な役割として30人ほどが参加。その3分の2が町外出身者だという。

続きはこちら



出典元：トラベルボイス

STAFF info

地域おこし協力隊 着任のご挨拶

昨年10月に着任しました、地域おこし協力隊8期生の山本です。好きな食べ物は白いご飯と冷たいうどん、マイブームは髪の毛を伸ばすことです。ミッションは「町の魅力発信と観光を核とした町内への誘客活動」で、現在は観光協会に所属しております。
町に移住するまでは、愛知に18年、高校卒業後は高知に4年、就職で静岡に半年と、福岡県2年住んでいました。年の割に多くの場所に定住していた経験もあり、各地の良い点を町に反映し、活用できれば良いと考えています。
現在はミッションで、アウトドアサウナ施設

の作成を試みており、23年度は鷹山地区で実施の予定をしておりますので、皆さん是非遊びに来てください。若い力で地域と協力しながらもっと町を盛り上げていきたいです。
他にも、一次産業の活性化で町の新たな特産物を作りたい！旧宿場町の復活をしたい！などの思いがあり、前進していきたいと思っています。
大学で学んでいた魚について、前職での食品に対して専門知識はありましたが、長和町ではなかなか活きる場面はないかと思います。全く異なる新たなチャレンジをしたいと思っていますので、改めてよろしくお願いします！！



山本航大 Yamamoto Kohdai

任期：2022年10月～
出身：愛知県小牧市
年齢：25歳（1997年7月9日生）
前職：食品メーカー営業
学歴：高知大学 農林海洋科学部（魚類病理学専攻）卒業

周辺情報

- 4月中旬 鷹山ファミリー牧場 オープン
鷹山ファミリー牧場 69-0550
- 4/29 星くそ館 オープン
黒耀石体験ミュージアム 41-8050
- 4/16 茅野市 TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge in 八ヶ岳 茅野茅野市運動公園 茅野商工会議所 0266-72-2800
- 4/29 美ヶ原高原美術館 オープン
美ヶ原高原美術館 86-2331 85-2111（冬季：12月～3月）
- 4月下旬 下諏訪町 八島湿原 八島ビジターセンターあざみ館オープン
八島ビジターセンター 0266-52-7000

お問合せ・応募先

信州・長和町観光協会 会報紙担当
古林健二 山崎みつぎ
E-Mail : info@nagawa.info
FAX : 0268-68-3719

観光協会 Web SNS



信州・長和町観光協会報

Feb.2023

信州・長和町観光協会発行

No.7_202302



古林 健二

会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

長く続くコロナ禍ですが、政府が第5種相当への見直しを進めている報道もあり、全国旅行支援やインバウンドの再開など、旅行業界にとって、嬉しい情報が増えてきました。

そんな中、発行してありました会報紙のリニューアルを図りました。これまでのような国や県からの情報をただ発信するだけでなく、世の中に溢れるニュースや情報から事務局が役立つ情報などをピックアップし、会員の皆様の今後の戦略の一助になれるような形へと進化させていきたいと思います。会員の皆様からの情報もお待ちしております。



高見沢 高明

明けましておめでとうございます。2023（令和5）年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が日本で確認されてから3年が経過しました。ワクチンや治療薬の開発により、徐々に終息するものと思っておりましたが、ウイルスの特性である変異により、感染拡大が繰り返されています。

加えて、昨年来、原油高騰により、電気料金の値上げやガソリン価格の上昇だけにとどまらず、日用品や資材等の高騰が続き、頭を悩ませる事態が続いています。

観光産業を取り巻く環境はとても厳しく、観光を営む会員皆さまには、「忍耐」の二文字ではなかったかと存じます。観光協会としましても、とても満足できるものではないと思いますが、少しでも会員皆さまのためになるよう行政とタイアップし、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源にその都度会員皆さま向けの各種事業を行ってまいりました。

本年の干支は「癸卯」であります。「癸卯は停滞した世の中に希望が芽吹き、花開く助走の年であり、希望を持ち続けることが道を開く鍵になる」と言われています。

世の中がこの沈滞モードから「わくわくウキウキ」モードに変わり、会員皆さまがこの一年、笑顔で過ごせますよう、観光協会も頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Event Report

藤森由香と歩きたかやまスノーハイク

令和4年度「スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業」（経営多角化支援）活用事業



- 1 北の耳で、藤森由香さんと参加者の記念撮影大会。
- 2 藤森さんもブランシュたかやまスキー場でのスノーシューは初体験。
- 3 雪不足のため、滑りやすくなっている斜面を慎重に下る参加者。



長和町 SC Instagram

長和町スポーツコミッション（長和町SC）が、スポーツ庁の令和4年度地方スポーツ振興費補助金（スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業）を活用し、長和町出身のオリンピック藤森由香氏（プロスノーボーダー）のSCアンバサダー就任と、藤森氏と歩くスノーシューイベント『藤森由香と歩きたかやまスノーハイク』（1月20日（金）・21日（土）場所：ブランシュたかやまスキーリゾート）を実施しました。

初日18名、二日目21名の応募があり、ともに快晴に恵まれました。コースは、大笹峰から北の耳、森林帯～モミの木樹氷コース脇、クロスカントリーコースを歩くショートコース。昼食を挟んで、藤森氏との撮影会を実施。例年に比べて降雪量が少なく、スノーシューの魅力を十分に堪能できる状態ではありませんでしたが、参加者の多くは藤森氏のファンであり、氏とのコミュニケーションや記念撮影を楽しみました。

長和町SCでは、藤森氏にアンバサダーを担っていただくことで、広報・発信力を強化し、認知度が高まることに期待しています。また、オールシーズンでのスポーツコンテンツを誘致することで、町の観光振興へ寄与することができるよう、来季は5月20日（土）旧和田中学校でのモルック大会（中面参照）開催やブランシュ第二駐車場でのサバイバルゲーム事業の継続、その他スポーツコンテンツの実施に向けて準備をしています。



藤森由香（プロスノーボーダー）
長和町出身のオリンピック。令和4年度より長和町スポーツコミッションアンバサダーに就任。

Feb.2023

情報があふれる現代社会。
事務局が気になるニュースをピックアップ！
記事によっては続きがありますので、
気になったニュースは、
QRコードから続きをご確認ください！

23年の旅行トレンドは「ウェルネストラベル」、手ごろな価格で付加価値のあるホテルが人気に

Hotels.com が、エクスペディアグループが日本を含む 18 カ国・地域の 2 万 4000 名を対象に実施した「2023 年の旅行に関する国際意識調査」をもとに、日本の旅行者の 2023 年旅行・ホテルのトレンド予測を発表した。ウェルネストラベルと手ごろな価格で付加価値のあるホテルがトレンドになるとみている。

ミレニアル世代が高い関心

近年、心と身体を癒すウェルネストラベルは世界中で注目されている。調査では、日本の旅行者の 47% が「2023 年の次の旅行は『ウェルネス』＆『リトリート』にプライオリティを置きたい」

食用コオロギ飼育に大手企業が参入。昆虫食の未来は、どうなる？

1 月 19 日、NTT 東日本が昆虫食事業に参入することを発表、各メディアがニュースでとりあげました。徳島大学発のベンチャー企業、株式会社グリラス（食用コオロギに関連する品種改良・生産・原料加工・商品開発・販売を一貫して国内で行っている）と、ICT/IoT を活用した食用コオロギのスマート飼育の確立をめざす実証実験を開始、府中市内にスマート食用コオロギの飼育施設をつくり、展示や飼育風景など見学できるように予定しているといします。

数年前、いくつかのメーカーからコオロギパウダーを使ったお菓子などが発売され、（それは流行らないんじゃない？）と思ったものです。しかし、昨年には日本航空（JAL）傘下の航空会社「ジップエア トーキョー」が、環境意識の高い米西海岸の乗客へのアピールを狙い、機内食としてコオロギ粉末入りのチリバーガー・ペスカトーレの販売を始めるなど、こういった食材が世界的には注目され、需要を増やしているようです。

長野県では昔から、貴重なたんばく源としてイナゴや蜂の子、さざむしなどの「昆虫食」が食べられてきました。現在でも、スーパーや道の駅などで販売されています。

「タンパク質危機」や「食品ロス」、「食糧安全保障」など、社会問題の解決策として期待されている昆虫食。FAO（国際連動食糧農業機関）が推奨する「昆虫食」は、この日本で、長野で、今後どのように発展していくのでしょうか。（山崎）



と回答。また、ウェルネスを目的とした過ごし方に前向きであると回答した世界の旅行者の約半数がミレニアル世代（25 ～ 34 歳）だった。

日本では、2023 年に最も行ってみたい旅行中のウェルネスアクティビティについて、約 3 割が「スポーツやフィットネス（ヨガやヨットツアーなど）」と回答したが、「わからない」（28%）が続いた。

興味は高いものの、まだはっきりとした

続きはこちら



出典元：トラベルボイス

インバウンド誘致でこれから実践すべきデジタルマーケティングとは？

グローバル OTA である Trip.com グループは 2022 年 12 月、「2023 年のインバウンド旅行トレンドを探る」と題し、オンラインセミナーを開催した。当日は Trip.com グループの日本戦略の方針や内容を説明。また、訪日旅行マーケットに関わる事業者や知見を持つ 4 者が出演し、今後の取り組みやマーケティングのトレンドについて話した。

冒頭、ビデオメッセージを寄せた Trip.com グループ最高マーケティング責任者であるスン・ポー氏は、同グループが「2023 年の訪日インバウンドの急速回復を確信している」と述べ、日本の地域と観光事業者との連携強化や、同グループの多様なブランドとビッグデータを活用していく方針を示した。

JNTO の訪日プロモがフル再開、今後の観光マーケのポイントは？

セミナーでは、日本政府観光局（JNTO）理事長代理の蔵持京治氏が、水際対策の大幅に緩和を機にギアを上げ、訪日ツアーの造成や販売に向けた強力なプロモーションを開始していることを説明した。2022 年 10 月から 2023 年 3 月までの半年間で、メディアや旅行会社などの招請事業を 25 市場、航空会社や旅行会社との共同広告を 24 市場、リアル開催の

続きはこちら



出典元：トラベルボイス

2023 年のヒット予想、1 位は「国内旅行」！

（出典元：Web 担当者 Forum）

博報堂生活総合研究所では、23 年は「攻めの安近短」がキーワードになると分析。「安（安価）」・・・ 昨今の物価高騰を受け、節約したいとの理由から「フードロス削減」（3 位）、「節電グッズ」（5 位）、「300 円以上の商品も豊富な 100 円ショップ」（10 位）が上位に入った。「EV」が 9 位にランクインしていることから、ガソリン価格の高騰の影響や、低価格化による普及への期待がうかがえる。

「安（安心）」・・・ 「若年層の投資教育」（11 位）、「認知症保険」（28 位）などがランクインしており、人生 100 年時代への備えが見られた。便利で新しい習慣として「オンライン診療」（4 位）や「アプリ婚」（28 位）も入っている。

「近（近場、身近）」・・・ 「国内旅行」は全体で 1 位となり、「まずは近場から」の傾向が見られた。「ジブリパーク」（12 位）、「ディズニーシー・ファンタジースプリングス」（18 位）、「ウォーキングアプリ」（17 位）なども上位に入っている。「有料動画配信サービス」（2 位）、「e スポーツ」（5 位）、「メタバース」（15 位）といった自宅で楽しめるデジタル／ネット領域もランクインした。

「短（短時間、手軽）」・・・ 「ショート動画」（8 位）「TVer」（18 位）「倍速視聴」（28 位）など時間効率を高める項目が上位に。「バラエティ自販機／無人販売所」（23 位）、「冷凍食品専門店」（26 位）、「カプセル・トイ」（28 位）など、手軽に体験できる商品・サービスもランクインしている。

Z 世代の旅行・おでかけに関する意識調査

株式会社 SHIBUYA109 エンタテインメント（本社：東京都渋谷区、社長：石川 あゆみ）が運営する若者マーケティング研究機関『SHIBUYA109 lab.（シブヤイチマルキューラボ）』は、15 ～ 24 歳の Z 世代を対象に、外部調査パネルによる WEB 調査と SHIBUYA109 lab. 独自のネットワークによるインタビューから「Z 世代の旅行・おでかけに関する意識調査」を行いました。

Z 世代の旅行・おでかけにまつわる価値観とは？

海外渡航の規制も緩和されつつある昨今、インバウンド需要をはじめ、レジャー需要の動向が注目されています。コロナ禍を経て Z 世代の旅行やおでかけに関する価値観はどのように変わっているのでしょうか。SNS を使いこなす彼らの思い出の残し方を含め、旅行やおでかけに関する意識調査を実施しました。

約 3 割の Z 世代が「食べ歩き」にお金をかける！

近場で旅するスタイルが定着

まずは、Z 世代が「お金をかけていること」について調査したところ、全体で回答として最も多かったのは「食べ歩き（32.8%）」という結果に。2019 年の調査では、最も多かった項目が「旅行（21.8%）」であったのに対し、「食べ歩き」は 11.7% であったため、カフェ巡りをはじめとする食べ歩きが、以前よりもお金をかけて楽しまれていることがわかりました。

"23 年ヒット予想" ランキング(全体)

(1,008 人)

1	国内旅行	54.0
2	有料動画配信サービス	52.5
3	フードロス削減	51.5
4	オンライン診療	51.0
5	e スポーツ	48.0
5	脱プラスチック	48.0
5	節電グッズ	48.0
8	ショート動画	47.5
9	EV（電気自動車）	46.5
10	300 円以上の商品も豊富な 100 円ショップ	46.0
11	若年層の投資教育	45.5
12	ジブリパーク	45.0
12	サービスロボット	45.0
12	海外旅行	45.0
15	メタバース	44.5
16	男性も日傘	43.0
17	ウォーキングアプリ	42.5
18	TVer	42.0
18	ネッククーラー	42.0
18	空調服	42.0
18	サウナ	42.0
18	ディズニーシー・ファンタジースプリングス	42.0
23	睡眠の質を高める乳酸菌	41.5
23	押し活消費	41.5
23	バラエティ自販機／無人販売所	41.5
26	ジェンダーレスコスメ	40.0
26	冷凍食品専門店	40.0
28	自動運転・レベル 3	39.5
28	カプセル トイ	39.5
28	アプリ婚	39.5
28	認知症保険	39.5
28	倍速視聴	39.5

(点)

続きはこちら



出典元：SHIBUYA109 lab.

MÖLKKY SHINSHU Presents

第 1 回
モルック
ウンチョコカップ

長和町大会

2023.5.20



会場…旧和田中学校
雨天会場…湯遊パーク体育館

応募組数…32 チーム
参加費…おひとり様 2,200 円

必ず 1 チーム 3 ～ 4 名でご応募ください



●参加組数が先着 32 チームに達した時点で応募締め切りとなります。行き違いでお振込みいただいていた場合はご返金いたします。
●参加人数は 3 ～ 4 名となっております。3 名未満の場合はご参加いただけません。また、何らかの事情で参加人数が 3 名未満になってしまった場合もご参加できなくなります。
●お客様都合によるご入金後のキャンセル、および返金はお受けしておりません。
●雨天による会場変更がございます。何卒ご了承くださいます。

お問合せ先

モルック信州事務局

T: 0120-517-803

M: molkky.shinshu@gmail.com

〒386-0033 上田市御所 603-1

主催：モルック信州

共催：長和町スポーツコミッション

協賛：信州・長和町観光協会